

サイترونビューア
(Cytolon Viewer)

Ver2.4

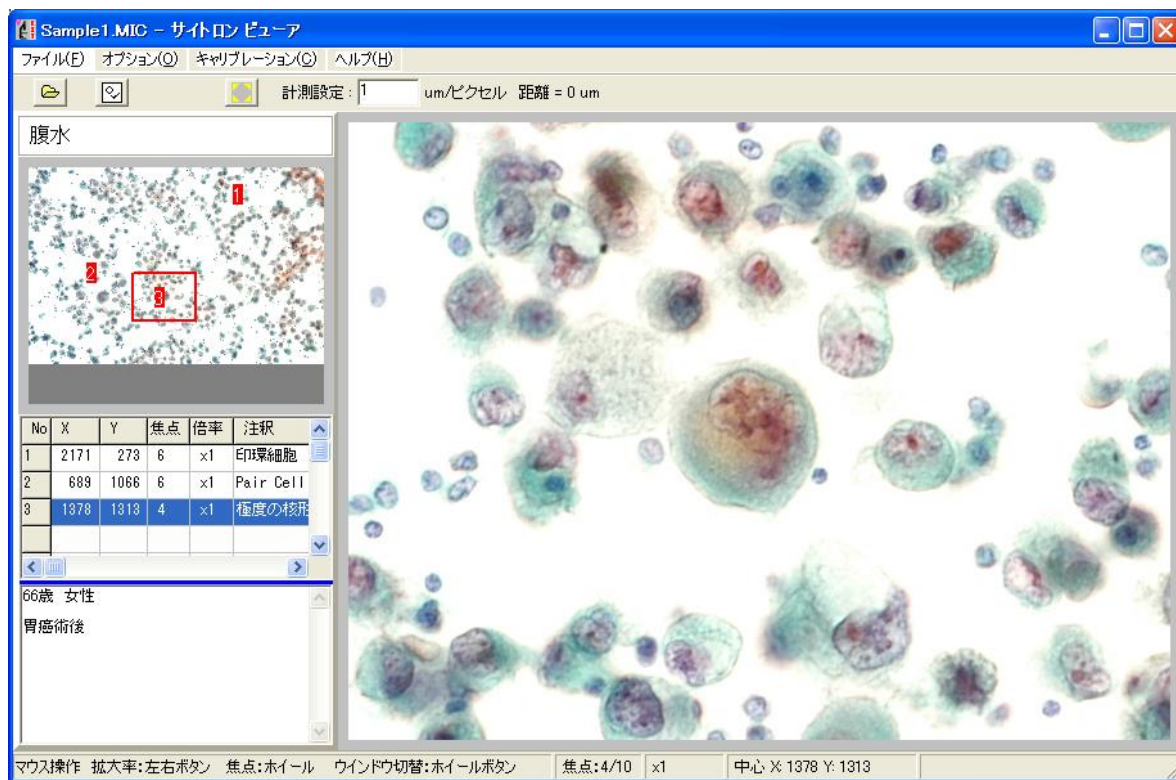
ソフトウェア説明書

| | |
|------------------------------------------------|---|
| 1. 概要 | 3 |
| 1-1. 概要 | 3 |
| 1-2. 動作環境 | 3 |
| 2. インストール | 4 |
| 2-1. CD-R のフォルダ構成 | 4 |
| 2-2. KIT1090 ボード用ドライバのインストール（ボード使用時のみ） | 4 |
| 2-3. アプリケーションのインストール、ライセンス入力 | 4 |
| 3. アンインストール | 5 |
| 3-1. アプリケーションのアンインストール | 5 |
| 3-2. KIT1090 ボード用ドライバのアンインストール（ボード使用時のみ） | 5 |
| 4. 操作方法 | 5 |
| 4-1. ファイルメニュー | 5 |
| 4-1-1. 開く | 5 |
| 4-1-2. 閉じる | 6 |
| 4-1-3. 終了 | 6 |
| 4-2. オプションメニュー | 6 |
| 4-2-1. オプション | 6 |
| 4-3. キャリブレーションメニュー | 6 |
| 4-3-1. 開始 | 6 |
| 4-3-2. 終了 | 7 |
| 4-4. 画像表示中の操作 | 7 |
| 4-4-1. 表示を切り替える | 7 |
| 4-4-2. 距離を測定する | 7 |

1. 概要

1-1. 概要

サイトロンビューアは、サイトロンで作成保存したデータの専用ビューアです。出力ボードを使用して NTSC モニターへの表示も可能です。



1-2. 動作環境

OS: WindowsXP / VISTA / 7 で動作します。

メモリ : 512MB 以上を推奨。(4096×4096 ピクセル×16 画像の場合には 1GB 以上)

マウス : ホイール付きマウスを推奨

インストールに必要なディスク容量 : 5MB 以上

外部 NTSC モニターに出力する場合には、別途 KIT1090 ボード(弊社製)が必要です。

2. インストール

2-1. CD-Rのフォルダ構成



インストールにおいて、サンプルデータは PC にコピーされません。

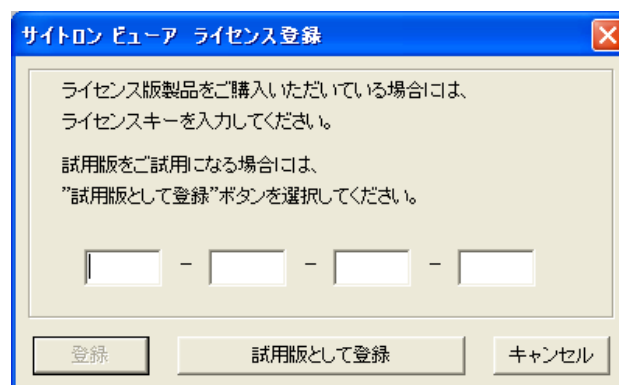
2-2. KIT1090 ボード用ドライバのインストール（ボード使用時のみ）

以前のバージョンですでにインストールしてある場合には不要です。

- － 1. PC の電源を切った状態で PCI スロットにボードを装着します。
- － 2. PC の電源を投入して Windows を起動すると、新しいハードウェアのインストールウィザードが表示されます。
- － 3. 画面の案内に従ってドライバをインストールしてください。
最初の画面では、「デバイスに最適なドライバを検索する」を選択します。
次の画面では「場所を指定」をチェックしておきます。
次のフォルダ指定の画面で、CD-R の Install¥KIT1090Driver フォルダを指定して下さい。

2-3. アプリケーションのインストール、ライセンス入力

- － 1. CD-R の Install¥App フォルダの Setup.Exe を起動し、画面の案内に従ってインストールしてください。
- － 2. インストールが終了するとアプリケーションが自動的に起動します。
ライセンスキーの登録画面が表示されますので、指定のライセンスキーを入力してください。
- － 3. ライセンスキーの登録をせずに「試用版として登録」ボタンを押すと、以降 90 日間試用版として使用出来ます。この場合メニューの「オプション－ライセンス登録」で、いつでもライセンスキーを登録することができます。

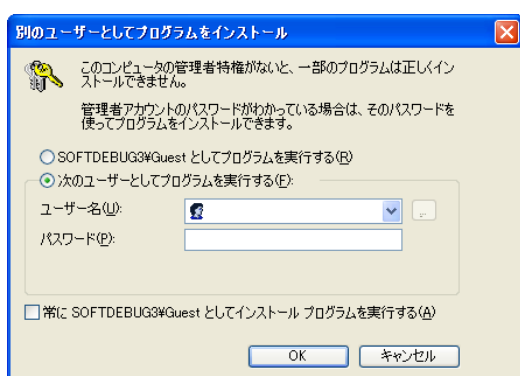


[注意]

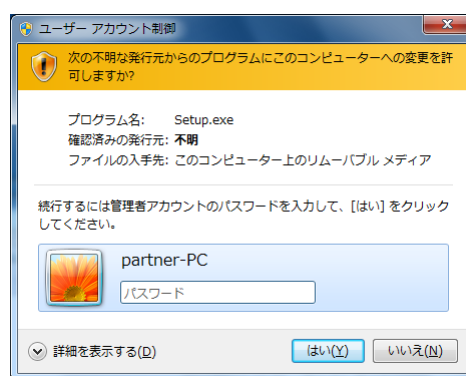
Setup.Exe を起動すると、下図のような画面があらわれて別なユーザー名とそのパスワードを求められることがあります。

これは現在のユーザーに管理者権限がないためで、この PC にソフトウェアをインストールできる、別なユーザーにユーザー名とそのパスワードを入力して頂いてください。この場合デスクトップにアイコンができない場合がありますので、以下の手順でアイコンを作成して頂いてください。

1. マイ コンピュータなどで c:\¥program files¥Cytolon¥Viewer などの中にある、実行プログラム CytolonViewer.exe をマウスで右クリックする。
2. 出てきたメニューから、「送る(N) --- デスクトップ (ショートカットの作成)」を左クリックする。



Windows XP の場合



Windows 7 の場合

3. アンインストール

3-1. アプリケーションのアンインストール

- 1. コントロールパネルの「アプリケーションの追加と削除」から「サイトロンビューア」を選択して下さい。

3-2. KIT1090 ボード用ドライバのアンインストール（ボード使用時のみ）

- 1. マイコンピュータを右クリックしてプロパティを開きます。
- 2. 「ハードウェア」タブの画面からデバイスマネージャを表示します。
- 3. 「サウンド、ビデオ及びゲームコントローラ」の中から KIT1090 ボードを選択して削除して下さい。
- 4. Windows を終了して PC の電源を切り、ボードを取り外します。

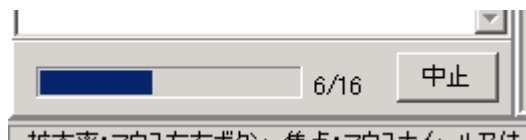
4. 操作方法

4-1. ファイルメニュー

4-1-1. 開く

データを表示します。ファイル選択画面が表示されますがインストール直後は、マイドキュメント(Windows XP など)、ドキュメント (Windows7) になっていますから画像を保存してあるフォルダに変更してください。その後パラメータファイルを選択してください。

読み込み中は進捗状況を画面左下に表示します。ここで[中止]ボタンを押すと読み込みを中止します。



画像ファイルのフォルダ

パラメータファイルを読み込んで画像ファイルを開く場合、次の順にフォルダを調べます。

- ー 1. パラメータファイルと同じフォルダ
- ー 2. パラメータファイル作成時の画像フォルダ

これで画像ファイルが見つからない場合には、フォルダ指定するかどうかをメッセージ表示して、「はい」ならばフォルダ選択の画面を表示します。

4-1-2. 閉じる

表示中のデータを閉じて画面をクリアします。

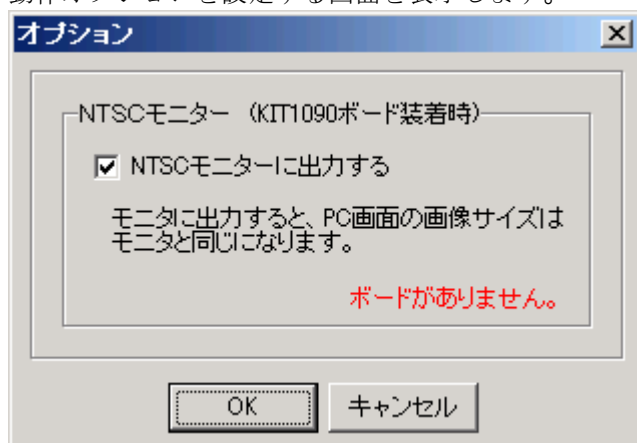
4-1-3. 終了

プログラムを終了します。

4-2. オプションメニュー

4-2-1. オプション

動作オプションを設定する画面を表示します。



NTSC モニターに出力する

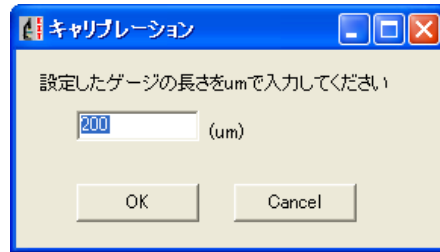
KIT1090 ボードを装着してある場合で、NTSC モニターに出力する時にチェックします。モニターに出力すると PC 画面の拡大画像の表示サイズはモニターと同じ(640×480 ピクセル)になります。モニター出力しない場合には画像表示サイズはウィンドウサイズに応じて変化します。

4-3. キャリブレーションメニュー

4-3-1. 開始

「4-4-2. 距離を測定する」で使用する、画像ファイル上の 1 ピクセルに相当する距離の測定モードを開始します。Ctrl+C キーを押しても同様です。まず「4-4-2. 距離を測定する」をお読みください。

このモードになるとゲージは青色に変わります。



通常の方法でゲージを距離のわかっているメーター等の両端に設定してください。設定が終わると、「この長さでキャリブレーションしますか？」のメッセージがでますので、「はい」を選べると、以下のダイアログが出ます。先ほどの距離を μm 単位で入力し、「OK」を押してください。これにより計測設定の、1ピクセルに相当する距離が更新されます。

4-3-2. 終了

キャリブレーションのモードを終了します。Ctrl+C キーを押しても同様です。

4-4. 画像表示中の操作

4-4-1. 表示を切り替える

表示範囲の移動

左側の全体表示画面でマウスを移動すると、右画面に部分表示する範囲も移動します。

マークしたデータの表示

マーカー欄からマウス左ボタンで選択すると、マーク記録時の位置、倍率、焦点を表示します。


拡大して表示する

全体表示画面、部分表示画面、またはマーカー欄から選択した行でマウス左ボタンをクリックすると、現在の倍率よりも1段階拡大して表示します。

縮小して表示する

全体表示画面、部分表示画面、またはマーカー欄から選択した行でマウス右ボタンをクリックすると、現在の倍率よりも1段階縮小して表示します。

フルスクリーン表示する

[全画面]ボタン、あるいは Ctrl+F のキーを押すと、部分表示画像がウィンドウ画面全体に表示されます。ESC キーか、あるいはもう一度 Ctrl+F のキーを押すと元の画面に戻ります。フルスクリーン表示中も、拡大、縮小、焦点切り替えは同じ操作で行えます。

焦点を切り替える

マウスホイールを回転させるか、[↑][↓]キーを押すと前後の画像に切り替わります。

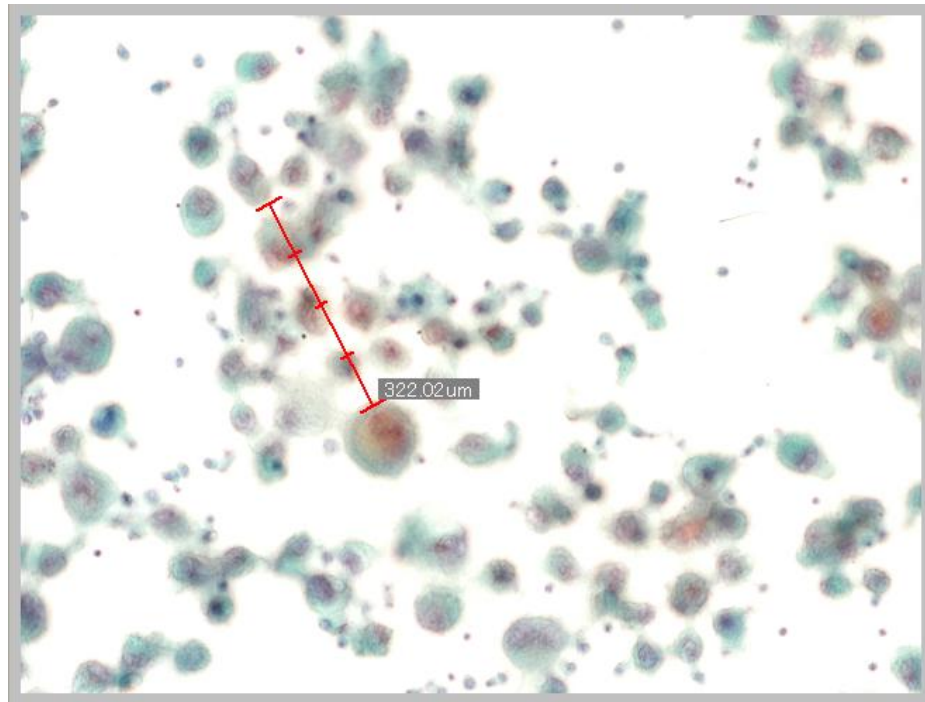
ウィンドウを切り替える

マウスホイールボタン、あるいは TAB キーを押すと、全体表示画面 ⇄ 部分表示画面、マーカー欄 ⇄ 部分表示画面 のようにマウスカーソル位置が切り替わります。

4-4-2. 距離を測定する

右の部分表示画面やフルスクリーン画像上で、Shift キーを押しながらマウスの左ボタンを押しそのまま移動させると（以下ドラッグ）、測定ゲージが表示され2点間の距離を測定することができます。任意の場所で左ボタンを離しても構いません。

画面の倍率を変えたり、マウスを画面外に移動したりすると、測定ゲージの一部や全部が見えなくなることがあります。



画面上部とゲージ端点の近くにはゲージ両端間の距離が表示されます。
これを μm 単位で表示するためにはあらかじめ距離表示の隣にある計測設定ボックスで、倍率が $\times 1$ の表示時に 1 ピクセル（画像ファイル上の 1 ピクセル）が何 μm に相当するかを入力しておいて下さい。1 を設定すると距離は倍率 $\times 1$ 画像でのピクセル数になります。
あらかじめ長さのわかっている物体を使って設定する場合は、「4－3．キャリブレーションメニュー」を参照してください。

計測設定 : 1 um/ピクセル 距離 = 490 um

表示されているゲージの端点近くで **Shift** を押さずにマウスをドラッグすると、ゲージ設定状態に戻りその端点を移動させることができます。
また同様にゲージの中央をドラッグすると、ゲージの両端を同時に移動させることができます。

ゲージは **Shift** を押しながら画像のどこかをクリックすれば消えます。